

2018年10月以降始期用

SURE 重要事項説明書



この書面では、ガン重点型の医療保険SURE<シュア>に関する重要事項(「契約概要」「注意喚起情報」等)についてご説明しています。ご契約前に必ずお読みいただき、お申込みくださいますようお願いいたします。

ご契約の内容は、「普通保険約款・特約」によって定まります。この書面は、ご契約に関するすべての内容を記載しているものではありません。詳細は、「重要事項説明書の補足事項」および「普通保険約款・特約」に記載しています。必要に応じて当社ウェブサイトをご参照いただくか、当社までお問合せください。ご契約者と被保険者が異なる場合には、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずご説明ください。

読み方ガイド

- ・「重要事項説明書」および「重要事項説明書の補足事項」では、ご説明が必要な用語を青字で表示(※)しています。次の **用語の説明** をご参考にお読みください。
- (※)各項目で同じ用語を複数回使用する場合は、初出の際に青字で表示しています。
- ・**補足** このマークが記載されている項目は、「重要事項説明書の補足事項」に詳細を記載しています。

契約概要

保険商品の内容をご理解いただくための事項です。

注意喚起情報

ご契約に際してお客様にとって不利益になる事項等、特にご注意ください事項です。

用語の説明

「重要事項説明書」および「重要事項説明書の補足事項」で使用している用語をご説明します。

医科診療報酬点数表	手術または放射線治療を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められているものをいいます。
医師	被保険者が医師である場合は、被保険者以外の医師をいいます。
がん	がん保険普通保険約款別表1に記載の「悪性新生物」および「上皮内新生物」をいいます。 補足 【別表①】「悪性新生物」および「上皮内新生物」(⑥ページ)
公的医療保険制度	次のいずれかの法律に基づく医療保険制度をいいます。 ①健康保険法(大正11年法律第70号) ②国民健康保険法(昭和33年法律第192号) ③国家公務員共済組合法(昭和33年法律第128号) ④地方公務員等共済組合法(昭和37年法律第152号) ⑤私立学校教職員共済法(昭和28年法律第245号) ⑥船員保険法(昭和14年法律第73号) ⑦高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)
ご契約者	ご契約の当事者として、保険契約を締結する方で、保険料のお支払い等、保険契約上の権利・義務を有する方をいいます。
診断確定	医師によって、剖検または生検による病理組織学的所見、細胞学的所見、X線または内視鏡等による理学的所見、臨床学的所見および手術所見の全部またはいずれかによりなされることをいいます。
先進医療	公的医療保険制度に基づく評価療養のうち、厚生労働大臣が定める先進医療をいい、療養を受けた日現在に規定されているもの、かつ、先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限ります。そのため、対象となる先進医療は変動します。
特約	普通保険約款に定められた事項を特別に補充・変更する事項を定めたものです。
入院	治療が必要な場合において、自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。
被保険者	保険契約により保障を受けられる方をいいます。
病院または診療所	医療法(昭和23年法律第205号)に定める日本国内にある病院もしくは患者を収容する施設を有する診療所またはこれらと同等と認められる日本国外にある医療施設をいいます。
普通保険約款	基本の保障内容および契約手続等に関する原則的な事項を定めたものです。
保険金	普通保険約款および特約により保障される病気またはケガが生じた場合に当社がお支払いすべき金銭をいいます。
保険金額	保険契約により保険金をお支払いする事由が生じた場合に、当社がお支払いすべき保険金の額(または限度額)をいいます。
保険料	ご契約者が保険契約に基づいて当社に払込むべき金銭をいいます。

契約締結前におけるご確認事項

1. 商品の仕組み

契約概要

ガン重点型の医療保険SURE<シュア>は、「傷害および疾病による入院・手術保障特約付がん保険」に各種特約をセットすることにより、生涯にわたって病気・ケガによる入院や手術を保障する商品の総称です。この保険では、保障内容の異なるご契約プランをご用意しておりますので、ご要望に応じてお選びください。申込書の郵送によるお申込みの場合は「基本プラン」、「がん2倍プラン」、「がん2倍プラン+がん通院・診断一時金」から、ウェブサイトからお申込みの場合は「基本プラン」、「がん2倍プラン」からそれぞれお選びください。

			ご契約プラン				
			申込書の郵送によるお申込みの場合		ウェブサイトからのお申込みの場合		
			基本プラン	がん2倍プラン	がん2倍プラン +がん通院・診断一時金	基本プラン	がん2倍プラン
入院 手術等の保障	入院保障	がん	がん入院保険金日額	基本プランの2倍		がん入院保険金日額	基本プランの2倍
		がん以外の病気・ケガ	入院保険金日額	基本プランと同額		入院保険金日額	基本プランと同額
	手術治療保障 放射線	がん	がん手術保険金 がん放射線治療保険金	基本プランの2倍		がん手術保険金 がん放射線治療保険金	基本プランの2倍
		がん以外の病気・ケガ	手術保険金(※1)	基本プランと同額		手術保険金(※1)	基本プランと同額
骨髄ドナーサポート			骨髄幹細胞採取手術保障特約による手術保険金・入院保険金(疾病入院保険金)				
先進医療費保障			先進医療保険金				
特約	がん通院保障		申込書の郵送によるお申込みの場合、基本プランおよびがん2倍プランでは、「がん通院保障」および「がん診断保障」はお選びいただくことができませんので、当社ウェブサイトからお申込みください。ただし、ウェブサイトにてご契約可能な被保険者は満20歳以上満70歳以下となります。		がん通院保険金日額	がん通院保険金日額	基本プランの2倍
	がん診断保障				がん診断保険金	がん診断保険金	基本プランの2倍
保険料払込方法			「保険料は一生固定」または「60歳からは保険料半額」(※2)からお選びいただけます。				

- (※1) 1日以上以上の入院中の手術に限りです。
- (※2) 「60歳からは保険料半額」(保険料の中途低減ステップ払に関する特約)を選択された場合、60歳以降の保険料は半額になります。詳細は、5ページ「3.(2) 保険料の払込方法等【ご注意】「60歳からは保険料半額」を選択された場合について」をご参照ください。
- (※3) ウェブサイトからのお申込みの場合、先進医療費保障、がん通院保障、がん診断保障はそれぞれご要望に応じてお選びいただくことができます。
- (*) 保障内容の詳細は、後記「2.(1) 保障内容」をご確認ください。

●この保険にお申込み・ご契約をすることができる方は個人の方に限ります。また、ご契約可能な被保険者は、右表のとおりとなります。なお、当社ウェブサイトからのお申込みの場合、ご契約者と被保険者が同一となる場合に限り、お申込み・ご契約をすることができます。

保険料払込方法	被保険者の年齢(保険始期日時点)	
	申込書の郵送によるお申込み	ウェブサイトからのお申込み
「保険料は一生固定」	満6歳から満70歳	満20歳から満70歳
「60歳からは保険料半額」	満6歳から満57歳	満20歳から満57歳

- (*) 被保険者の健康状態や職業によっては、お引受けを制限させていただく場合があります。また、過去にがんにかかったことのある方はお引受けできません。
- 当社の商品において、被保険者を同一として先進医療費保障特約に重複して加入することはできません。

2. 保障内容等

(1) 保障内容 契約概要 注意喚起情報

「保険金をお支払いする場合」「保険金をお支払いできない主な場合」は、次のとおりです。詳細は「重要事項説明書の補足事項」または「普通保険約款・特約」をご確認ください。

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金をお支払いできない主な場合				
がん 入院保険金	<p>■ 保険始期日からその日を含めて91日目以降に医師によりがんと診断確定され、そのがんの治療を直接の目的として入院をした場合に、入院1日につき下表のがん入院保険金日額をお支払いします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基本プラン</th> <th>がん2倍プラン(※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下記「傷害および疾病による入院・手術保障特約」の入院保険金日額(※1)と同額</td> <td>基本プランの2倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 入院1日につき5,000円または10,000円のいずれかをお申込時にお選びいただけます。 (※2) がん2倍プラン+がん通院・診断一時金の場合も含まれます(以下同様とします)。</p> <p>■ 1回の入院についての支払限度日数は無制限となります。</p>	基本プラン	がん2倍プラン(※2)	下記「傷害および疾病による入院・手術保障特約」の入院保険金日額(※1)と同額	基本プランの2倍	<p>◆ 保険始期日からその日を含めて91日目より前にがんと診断確定されていた場合</p> <p>◆ 単なる診断・検査など、治療を目的としない場合(ただし、診断・検査のための入院中に医師によりがんと診断確定された場合で、それ以前の入院日数のうち、医師の診断書等によりがんの治療を目的とした入院と認められる日数については、がん入院保険金をお支払いします。)</p>
	基本プラン	がん2倍プラン(※2)				
下記「傷害および疾病による入院・手術保障特約」の入院保険金日額(※1)と同額	基本プランの2倍					

補足 マークが記載されている項目は「重要事項説明書の補足事項」をご参照ください。青字で表示している用語については「用語の説明」(表紙)をご確認ください。

重要事項説明書

重要事項説明書の補足事項

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保険金をお支払いできない主な場合				
<p>がん保険普通保険約款</p> <p>がん手術保険金</p> <p>がん放射線治療保険金</p>	<p>■保険始期日からその日を含めて91日目以降に医師によりがんと診断確定され、そのがんの治療を直接の目的として手術(※)を受けた場合に、1回の手術につき下表のがん手術保険金額をお支払いします。</p> <table border="1" data-bbox="319 302 689 376"> <tr> <td>基本プラン</td> <td>がん2倍プラン</td> </tr> <tr> <td>10万円</td> <td>20万円</td> </tr> </table> <p>(※) 公的医療保険制度における医科診療報酬点数表により手術料の算定される手術または輸血料の算定される骨髄移植術をいいます。</p>	基本プラン	がん2倍プラン	10万円	20万円	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆保険始期日からその日を含めて91日目より前にがんと診断確定されていた場合 ◆単なる診断・検査など、治療を目的としない場合(ただし、診断・検査のための入院中に医師によりがんと診断確定された場合で、それ以前の入院日数のうち、医師の診断書等によりがんの治療を目的とした入院と認められる日数については、がん入院保険金をお支払いします。) <p>【がん手術保険金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇傷の処置(創傷処理、デブリードマン)、切開術(皮膚、鼓膜)、骨または関節の非観血的整復術・非観血的整復固定術・非観血的授動術、抜歯等に該当する手術
	基本プラン	がん2倍プラン				
10万円	20万円					
<p>■保険始期日からその日を含めて91日目以降に医師によりがんと診断確定され、そのがんの治療を直接の目的として放射線治療(※)を受けた場合に、1回の施術につき下表のがん放射線治療保険金額をお支払いします。ただし、施術の開始日からその日を含めて60日間に1回のお支払いを限度とします。</p> <table border="1" data-bbox="319 728 689 801"> <tr> <td>基本プラン</td> <td>がん2倍プラン</td> </tr> <tr> <td>10万円</td> <td>20万円</td> </tr> </table> <p>(※) 公的医療保険制度における医科診療報酬点数表により放射線治療料の算定される施術をいい、血液照射は除きます。</p>	基本プラン	がん2倍プラン	10万円	20万円		
基本プラン	がん2倍プラン					
10万円	20万円					
<p>傷害および疾病による入院・手術保障特約</p> <p>入院保険金 (疾病入院保険金、 傷害入院保険金)</p> <p>手術保険金</p>	<p>■保険始期日以降に発病したがん以外の病気、または保険始期日以降に発生した事故によるケガの治療を直接の目的として入院をした場合に、入院1日につき下表の入院保険金日額をお支払いします。</p> <table border="1" data-bbox="319 1120 689 1227"> <tr> <td>基本プラン・がん2倍プランともに</td> </tr> <tr> <td>5,000円または10,000円 (お申込時にお選びいただけます。)</td> </tr> </table> <p>■1回の入院についての支払限度日数は60日となります。保険期間を通じての通算支払限度日数は、疾病入院保険金・傷害入院保険金それぞれ1,095日となります。</p>	基本プラン・がん2倍プランともに	5,000円または10,000円 (お申込時にお選びいただけます。)	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆保険始期日前に発病したがん以外の病気または保険始期日前に発生した事故によるケガ。ただし、次の場合には、保険金をお支払いします。 <ul style="list-style-type: none"> ・保険始期日からその日を含めて2年経過後に開始した入院、受けた手術または先進医療による療養 ・保険始期日前に発病したがん以外の病気について、告知により当社が知っていた場合の、保険始期日以降のそのがん以外の病気の治療を直接の目的とした入院、手術または先進医療による療養。(事実の一部が告知されなかったことにより、そのがん以外の病気に関する事実を当社が正確に知ることができなかった場合を除きます。) ◆次のいずれかに該当するがん以外の病気・ケガの場合 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産。ただし、公的医療保険制度において療養の給付の支払対象となる症状に相当する異常分娩の場合はお支払いします。 ・先天性異常 ◆次のいずれかによって、がん以外の病気・ケガを被った場合 <ul style="list-style-type: none"> ・無免許運転、飲酒運転中の事故 ・地震・噴火・津波。ただし、この保険の計算基礎への影響が少ないと当社が認めるときは、程度に応じ保険金を全額または削減してお支払いします。 ・精神障害を原因とする事故 		
	基本プラン・がん2倍プランともに					
5,000円または10,000円 (お申込時にお選びいただけます。)						
<p>■保険始期日以降に発病したがん以外の病気、または保険始期日以降に発生した事故によるケガの治療を直接の目的として手術(※)を受けた場合に、1回の手術につき下表の手術保険金額をお支払いします。ただし、<u>1日以上の上の入院中の手術に限り</u>ます。</p> <table border="1" data-bbox="319 1646 689 1720"> <tr> <td>基本プラン・がん2倍プランともに</td> </tr> <tr> <td>5万円</td> </tr> </table> <p>(※) 公的医療保険制度における医科診療報酬点数表により手術料の算定される手術をいいます。</p>	基本プラン・がん2倍プランともに	5万円	<p>【入院保険金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇1回の入院につき入院日数が左記の支払限度日数を超えた場合、その超えた日数分。なお、入院を2回以上した場合でも、原因となった病気が同一または医学上重要な関係がある病気のときは、最終の入院の退院日の翌日からその日を含めて180日以内に開始した再入院は1回の入院とみなします。また、同一の事故によるケガで、事故発生の日からその日を含めて180日以内に開始した再入院も同様となります。 ◇単なる診断・検査・人間ドックや美容整形など、病気の治療を目的としない場合 <p>【手術保険金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇傷の処置(創傷処理、デブリードマン)、切開術(皮膚、鼓膜)、骨または関節の非観血的整復術・非観血的整復固定術・非観血的授動術、抜歯等に該当する手術 ◇近視・遠視・乱視の矯正を目的としたレーザー・冷凍凝固による眼球手術 ◇単なる診断・検査や美容整形など、病気の治療を目的としない場合 			
基本プラン・がん2倍プランともに						
5万円						
<p>先進医療費保障特約</p> <p>先進医療保険金</p>	<p>■次のいずれかを直接の原因とする先進医療による療養を受けた場合に、先進医療の技術料と同額をお支払いします。ただし、保険期間を通じて2,000万円を限度とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険始期日からその日を含めて91日目以降に医師により診断確定されたがん ・保険始期日以降に発病したがん以外の病気、または保険始期日以降に発生した事故によるケガ 	<p>【先進医療保険金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇保険始期日からその日を含めて91日目より前にがんと診断確定されていた場合のそのがんに対する保険金 ◇歯(牙)、歯肉、歯槽骨の悪性新生物以外の疾患またはこれらのケガに関するもの、および歯(牙)欠損を直接の原因とする先進医療による療養 ◇療養を受けた日現在、公的医療保険制度に定める療養の給付に関する規定において給付対象となっていない、または承認取消などの理由により先進医療ではなくなっている療養 				

保険金の種類		保険金をお支払いする場合	保険金をお支払いできない主な場合				
保障特約 骨髄幹細胞採取手術	手術保険金	■ 保険始期日からその日を含めて1年経過以降に骨髄提供のための骨髄幹細胞採取手術を受けた場合に、手術保険金10万円をお支払いします。また、手術保険金をお支払いする骨髄幹細胞採取手術を直接の目的として 入院 をした場合に、「傷害および疾病による入院・手術保障特約」の入院保険金と同様の方法で、入院保険金(疾病入院保険金)をお支払いします。 ただし、骨髄幹細胞採取手術での手術保険金・入院保険金のお支払いは、保険期間を通じ1回の手術に限ります。	◆ 保険始期日からその日を含めて1年経過する前に、骨髄幹細胞採取手術を受けた場合 ◆ 被保険者 自らが骨髄幹細胞の提供者かつ受容者となる自家移植の場合				
	入院保険金(疾病入院保険金)						
がん診断保険金保障特約	がん診断保険金	■ 保険始期日からその日を含めて91日目以降に 医師 により悪性新生物と 診断確定 された場合には下表のがん診断保険金額を、上皮内新生物と診断確定された場合には下表のがん診断保険金額の20%をお支払いします。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td style="background-color: #4CAF50; color: white;">基本プラン</td> <td style="background-color: #4CAF50; color: white;">がん2倍プラン</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">50万円</td> <td style="text-align: center;">100万円</td> </tr> </table> ■ お支払回数は、悪性新生物または上皮内新生物のそれぞれに対し、保険期間を通じ1回に限ります。ただし、悪性新生物に対しがん診断保険金をお支払いした場合で、その診断確定日からその日を含めて2年経過した日の翌日以降に、新たにまたは再び悪性新生物と診断確定された(※)ときは、再度、がん診断保険金をお支払いします。 (※)がん診断保険金をお支払いした悪性新生物の転移・再発の場合には、すでに診断確定された悪性新生物を治療したことによりその悪性新生物が認められない状態となり、再び悪性新生物と診断確定されることを要します。	基本プラン	がん2倍プラン	50万円	100万円	◆ 保険始期日からその日を含めて91日目より前に がん と 診断確定 されていた場合
		基本プラン	がん2倍プラン				
50万円	100万円						
がん通院保険金保障特約	がん通院保険金	■ 保険始期日からその日を含めて91日目以降に 医師 により がん と 診断確定 され、がん入院保険金をお支払いする 入院 をした場合で、退院後にそのがんの治療を直接の目的として通院をしたときは、通院1日につき下表のがん通院保険金日額をお支払いします。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td style="background-color: #4CAF50; color: white;">基本プラン</td> <td style="background-color: #4CAF50; color: white;">がん2倍プラン</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5,000円</td> <td style="text-align: center;">10,000円</td> </tr> </table> ■ 退院日の翌日からその日を含めて365日以内の通院60日分が支払限度となります。なお、保険期間を通じた支払限度日数はありません(無制限)。	基本プラン	がん2倍プラン	5,000円	10,000円	◆ 保険始期日からその日を含めて91日目より前に がん と 診断確定 されていた場合 ◆ 治療処置を伴わない人間ドック検査または治療処置を伴わない薬剤・治療材料の購入もしくは受取のみの通院 ◆ がん入院保険金をお支払いする入院をしていない場合 ◆ がん入院保険金をお支払いする入院中に行われた通院
		基本プラン	がん2倍プラン				
5,000円	10,000円						

補足 お支払いする保険金(①ページ)、保険金をお支払できない主な場合・保険料を払込免除できない主な場合(③ページ)

(2) 保険金額の設定 契約概要

保険金額は、保険金の種類ごとにお選びいただくものと、あらかじめ決まっているものがあります。ご契約の保険金額については、申込書または当社ウェブサイトの申込画面にてご確認ください。

(3) 保険期間および保障の開始時期 契約概要 注意喚起情報

- 保険期間: 終身(被保険者が亡くなる時まで、保障は継続します。)
- 保障の開始: 次のとおり、保険金の種類により保障の開始時期が異なります。

保険金の種類	保障の開始
がんの保障に対する保険金(※1)	保険始期日(保険期間の初日)(※2)からその日を含めて91日目以降
骨髄幹細胞採取手術に対する手術保険金・入院保険金	保険始期日(保険期間の初日)(※2)からその日を含めて1年経過以降
その他の保険金	保険始期日(保険期間の初日)(※2)以降

(※1) がん入院保険金・がん手術保険金・がん放射線治療保険金・がんを直接の原因とする療養に対する先進医療保険金・がん診断保険金・がん通院保険金をいいます。

(※2) 当社にてご契約のお引受可否を審査し、お引受けを承認しご契約が成立した日の翌月1日(午前0時)となります。

【ご注意】 がんの保障開始日前に「悪性新生物」と診断確定されていた場合のご契約の無効

がんの保障開始日(保険始期日からその日を含めて91日目)より前に、被保険者が「悪性新生物」と**診断確定**されていた場合には、その事実を知っているとにかかわらず、ご契約は締結時から効力が生じなかったこと(無効)となり、払込保険料を返還する代わりに、すべての保障がなくなります。(保険金をお支払いできません。)

ただし、ご契約が無効となるまでに、入院保険金、手術保険金または先進医療保険金をお支払いすべきがん以外の病気・ケガが生じていた場合には、該当する**特約**に相当する分の**保険料**を返還しない代わりに、保険金をお支払いします。

なお、がんの保障開始日(保険始期日からその日を含めて91日目)より前に診断確定されたがんが「上皮内新生物」の場合は、その「上皮内新生物」に対して保険金をお支払いできませんが、ご契約は無効となりません。(同時に「悪性新生物」と診断確定されていた場合は、無効となります。)

3. 保険料の決定の仕組みと払込方法等

(1) 保険料の決定の仕組み 契約概要

保険料は、保障内容、保険金額、被保険者の年齢・性別、「60歳からは保険料半額」の選択の有無によって決定します。また、ご契約の条件により適用する保険料の割引制度があります。

実際に契約する保険料については、保険料早見表(※)や当社ウェブサイトの申込画面にてご確認ください。

(※)資料請求をされた方に郵送にてお送りしているものです。

補足 保険料の割引制度(①ページ)

(2) 保険料の払込方法等 契約概要 注意喚起情報

保険料は「月払」にて払込みいただきます。

●払込方法:「口座振替」または「クレジットカード払」となります。

口座振替	初回保険料	保険始期日の属する月の金融機関所定の振替日(原則として27日、この日が金融機関の休業日の場合には翌営業日)に、ご指定の口座から振替えます。
	第2回目以降の月払保険料	保険始期日の属する月の翌月から毎月、保険証券に記載された払込期日までの金融機関所定の振替日(原則として27日、この日が金融機関の休業日の場合には翌営業日)に、ご指定の口座から振替えます。
クレジットカード払(※)	初回保険料	保険始期日の前日までに、クレジットカード会社に対してご指定のクレジットカードの有効性等の確認を当社が行うことで、領収に代えます。
	第2回目以降の月払保険料	保険始期日の属する月の翌月から毎月、保険証券に記載された払込期日までに、クレジットカード会社に対してご指定のクレジットカードの有効性等の確認を当社が行うことで、領収に代えます。

(※)クレジットカード会社の口座引落しの手続日の関係により、2回分のお引落しがまとめて発生する場合があります。

●保険料払込期間:保険期間と同一(終身)となります。

●保険料払込免除:被保険者が、保険始期日以降に被ったケガ・病気を直接の原因として所定の高度障害状態または所定の障害の状態となつたと医師に診断された場合に、診断日の属する月の翌月以降に到来する払込期日より、保険料の払込みは免除となります。

補足 保険料の払込免除(③ページ)、保険金をお支払できない主な場合・保険料を払込免除できない主な場合(③ページ)

【ご注意】「60歳からは保険料半額」を選択された場合について

この保険料払込方法を選択されたご契約では、被保険者の「満60歳の保険始期日応当日」以降の払込期日より、払込みいただく月払保険料が半額となります。

「満60歳の保険始期日応当日」とは、被保険者の「満60歳の誕生日以降に最初に到来する保険始期日応当日」となります。そのため、下記の<例>のとおり、誕生日と保険始期日が別日の場合には、月払保険料が半額となるのは、満60歳の誕生日を迎えた後に最初に到来する保険始期日応当日以降分からとなります。

<例>「誕生日4月1日」の被保険者が、満47歳の時に「保険始期日10月1日」のご契約に加入された場合



(3) 保険料の払込猶予期間等の取扱い 注意喚起情報

●残高不足・口座解約等により所定の振替日に口座振替ができなかった場合や、クレジットカードの解約等により当社が有効性等の確認をできなかった場合には、払込猶予期間中にその保険料を払込みいただく必要があります。

●保険料が払込猶予期間中に払込まなかった場合の取扱い

①初回保険料が払込猶予期間中に払込まなかった場合には、保険始期日に遡ってご契約は解除となります。また、保険金をお支払いできません。

払込方法	初回保険料の払込猶予期間
口座振替	保険始期日の属する月の翌月末日まで
クレジットカード払	保険始期日の属する月の末日まで

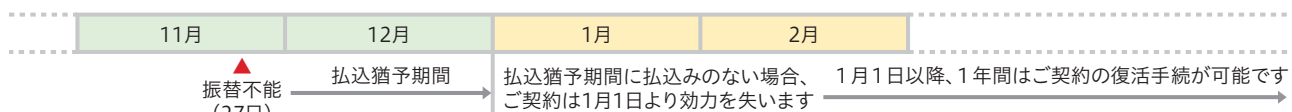
②第2回目以降の月払保険料が払込猶予期間中(払込期日の属する月の翌月末日まで)に払込まなかった場合には、ご契約は払込猶予期間の満了日の翌日から効力を失います。また、その日以降、保険金をお支払いできません。

(*)払込猶予期間中に当社が保険金をお支払いする場合には、保険金から未払込保険料を差引きます。ただし、保険金が未払込保険料に不足する場合は、払込猶予期間中に未払込保険料を払込みいただきます。払込みがない場合、上記同様にご契約は解除となるかまたは効力を失い、保険金をお支払いできません。

●ご契約の復活

第2回目以降の月払保険料が払込まれず、ご契約が払込猶予期間の満了日の翌日から効力を失った場合でも、その日からその日を含めて1年以内(すでにご契約を解約した場合を除きます)であれば、当社の定める手続によりご契約の復活を請求できます。この場合、あらためて当社所定の告知書にて告知をしていただくとともに、払込期日が到来している未払込保険料とその利息を、所定の期日までに払込みいただきます。

<例>口座振替の場合



ただし、ご契約が復活した場合であっても、復活日より前にがんや診断確定されていたときまたはがん以外の病気・ケガが生じていたときには保険金をお支払いできないことがあります。

補足 ご契約の復活に関するご注意(④ページ)

4. 満期返れい金・契約者配当金 契約概要

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

II 契約締結時におけるご注意事項

1. 告知義務（「告知書」の記載または当社ウェブサイト「告知画面」入力上の注意事項）

注意喚起情報

ご契約者、被保険者には、危険に関する重要な事項として、当社所定の「告知書」または当社ウェブサイトの「告知画面」で当社が告知を求めたもの（告知事項）について、事実を正確に告知する義務（告知義務）があります。事実を告知しなかった場合や告知内容が事実と違っている場合など、故意または重大な過失により正しく告知いただけなかった場合には、保険始期日からその日を含めて2年以内であれば、「告知義務違反」としてご契約を解除することがあります（※1）。

ご契約を解除した場合には、**保険金**をお支払いする事由が発生していても、お支払いすることはできません。また、**保険料**の払込みを免除する事由が発生していても、払込みを免除することはできません（※2）。このとき、すでに払込みいただいた保険料も返還しません。

（※1）2年経過後であっても、保険始期日からその日を含めて2年以内に保険金をお支払いする事由または保険料の払込みを免除する事由が発生した場合には、同様に「告知義務違反」としてご契約を解除することがあります。

（※2）「保険金の支払事由または保険料の払込免除事由の発生」と「解除の原因となった事実」との因果関係がなければ、保険金をお支払いすることまたは保険料の払込みを免除することがあります。

●被保険者の過去の傷病歴（傷病名・治療期間等）、現在の健康状態、身体の障害状態、職業、他の同種の保険契約へのご加入状況など十分ご注意のうえ、被保険者ご自身（被保険者が満15歳未満の場合はご契約者）が告知してください。告知書の記入に際しては告知書の記入例を、告知画面の入力に際しては告知画面にある入力例を必ずご確認ください。

（*）お電話による口頭でのお申出、FAX、Eメール等でのお申出はできません。（告知していただいたことにはなりません。）

●告知内容に応じたご契約のお引受けについて

過去に**がん**にかかったことのある方および現在**がん**にかかっている方は、ご契約をお引受けできません。また、職業、他の同種の保険契約へのご加入状況や、過去の傷病歴など告知内容に応じて、ご契約のお引受け可否を次のいずれかに決定します。

①特別な条件を付けずにご契約をお引受けする。

②ご契約のお引受けをお断りする。

③特定の病気や身体の一部を保障の対象外とするなどの条件付きでお引受けする。（当社より詳細を事前にご案内し、同意いただけた場合のみご契約をお引受けします。）

（*）がん以外の傷病歴等がある方のご契約すべてを、上記③のような条件付きとするものではなく、傷病によっては特別な条件を付けずにお引受けできる場合、またはご契約のお引受けをお断りする場合もあります。

●前記「1-3. (3) 保険料の払込猶予期間等の取扱い ●ご契約の復活（5ページ）」の際にも、告知義務があります。従って、当社所定の告知書による新たな告知内容によってはご契約を復活できない場合があります。また、告知内容が事実と違っている場合には、ご契約を解除させていただくことや、保険金のお支払いや保険料の払込免除ができないことがあります。

（*）この「1. 告知義務（「告知書」の記載または当社ウェブサイト「告知画面」入力上の注意事項）」において、「保険始期日」を「復活日」としてお取扱います。

2. クーリングオフ

注意喚起情報

保険証券を初めて受取った日から、その日を含めて8日以内であれば、書面によるお申出によりクーリングオフ（申込みの撤回または契約の解除）ができます。クーリングオフのお申出をする場合は、次の方法に従ってお手続きをお願いします。なお、クーリングオフの場合には、すでにお支払いいただいた**保険料**は返還します。

(1) 保険証券を初めて受取った日から、その日を含めて8日以内に当社まで必ず郵便（封書またはハガキ）でお申出ください。お送りいただいた書面の消印日をお申出日とさせていただきます。なお、期限を過ぎた場合にはクーリングオフができませんのでご注意ください。

(2) 書面には、次の記入例の①～⑧の必要事項をご記入ください。

（*）電話・FAX・Eメール等でのお申出は承ることができませんのでご注意ください。

（*）**保険金**をお支払いする事由がすでに発生しているにもかかわらず、それを知らずにクーリングオフをお申出いただいた場合には、お申出がなかったものとしてお取扱います。

記入例

下記の契約をクーリングオフします。

〒XXX-XXXX XXXXXXXXXXXXXXXX

ソニー タロウ

曾二位 太郎

TEL XX-XXXX-XXXX

証券受取日 20XX年X月X日

証券番号 XXXXXXXXX

保険料返還口座

〇〇銀行〇〇支店 普通 XXXXXXXX

口座名義 曾二位 太郎

①保険契約の申込みを撤回または契約を解除する旨のお申出

②ご契約者の住所（郵便番号、アパート・マンション名、部屋番号までご記入ください。）

③ご契約者のお名前、フリガナ（フルネームでご記入ください。）

④押印（押印がない場合はクーリングオフのお申出を承ることができません。）

⑤ご契約者の電話番号（ご自宅、携帯電話または勤務先）

⑥証券の受取日（お手元に保険証券が到着した日）

⑦証券番号（保険証券または当社ウェブサイトの「ご契約者ページ（マイページ）」の契約内容確認画面等をご覧ください。）

⑧保険料返還口座（保険料振替口座またはご契約者本人名義の銀行・信用金庫・信用組合の口座をご指定ください。）

宛先

〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 アロマスクエア11F

ソニー損害保険株式会社 カスタマーセンター 医療保険グループ 行

補足 マークが記載されている項目は **重要事項説明書の補足事項** をご参照ください。青字で表示している用語については **用語の説明**（表紙）をご確認ください。

3. 現在のご契約の解約・減額を前提とした新たにご契約のご注意

注意喚起情報

(1) 現在のご契約について解約、減額などをされる場合の不利益事項

- 多くの場合、現在のご契約の解約返れい金は払込保険料の合計額よりも少ない金額となります。
- 一定期間の契約継続を条件に発生する配当の請求権を失うことがあります。

(2) 新たな契約(ガン重点型の医療保険SURE <シュア>)の申込みをされる場合のご注意事項

- 被保険者の健康状態などにより、新たな契約をお引受けできない場合があります。
- 新たな契約の保障の開始日より前に生じている病気・ケガなどに対しては、**保険金**をお支払いできないことがあります。
- 新たな契約の保険始期日における被保険者の年齢により計算された**保険料**が適用され、新たな契約の「**普通保険約款・特約**」が適用されます。そのため、新たな契約の商品内容が、現在のご契約と異なることがあります。
- 新たな契約では、保険料計算の基礎となる予定利率・予定入院発生率等が、現在のご契約と異なることがあります。

III 契約締結後におけるご注意事項

1. 当社へ通知が必要な場合

注意喚起情報

- お申込みの際の告知内容が事実と違っている場合には、訂正等のお手続きが必要となりますので、ただちに当社までお電話でご連絡のうえ、当社所定の書面にて訂正をお申出ください。
- 保険証券記載の「年齢・性別」に誤りがある場合には、ただちに当社までお電話でご連絡のうえ、当社所定の書面にて訂正をお申出ください。
- 上記のほか、**ご契約者、被保険者**の住所・通知先が変更となる場合や、お名前が結婚等で変更となる場合には、当社までお電話でご通知ください。(住所・通知先は当社ウェブサイトからも変更手続きが可能です。ご連絡いただかないと、重要なお知らせやご案内ができないこととなります。)また、月払保険料の払込方法(口座振替、クレジットカード払)の変更も可能です。お手続きについては、当社までお問合せください。

 **告知内容のご確認と訂正手続(⑤ページ)、被保険者の「年齢・性別」のご確認と訂正手続(⑤ページ)、ご契約内容に変更が生じる場合(⑤ページ)**

2. 重大事由による解除

次の事由のほか、これらと同程度に当社のご契約者、被保険者などに対する信頼を損ない、ご契約の存続を困難とする重大な事由が生じた場合には、当社にご契約を解除することがあります。ご契約を解除した場合、**保険金**をお支払いすることや**保険料**の払込みを免除することはできません。また、すでに払込みいただいた保険料も返還しません。

- 保険金の支払いや保険料の払込免除を目的として、その原因を生じさせまたは生じさせようとしたこと。
- 保険金の請求について、詐欺を行いまは行おうとしたこと。
- ご契約者、被保険者が、暴力団関係者その他の反社会的勢力に該当すると認められること。
- 他の保険契約等(※)との重複によって、被保険者に係るがん入院保険金日額等の**保険金額**の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。

(※)「他の保険契約等」とは、この保険の全部または一部と保障内容が同じである他の保険契約または共済契約をいいます。

 **その他のご契約の取消し・無効・解除(⑤ページ)**

3. 解約返れい金

契約概要

注意喚起情報

ご契約を解約した場合であっても解約返れい金はありません(※)。

(※)「**保険始期日前**」または「**がんの保障開始日前**」の解約時の保険料返還について

保険始期日以前にご契約を解約する場合で、すでに**保険料**を払込みいただいているときは、その全額を返還します。また、保険始期日以降であっても、**がん**の保障開始日(保険始期日からその日を含めて91日目)より前に解約する場合には、**がん入院保険金・がん手術保険金・がん放射線治療保険金・先進医療保険金・がん診断保険金・がん通院保険金**に該当する**普通保険約款・特約**に相当する分の保険料を返還します。

ただし、ご契約を解約するまでに、**がん以外の病気・ケガ**を直接の原因とする療養に対する**先進医療保険金**をお支払いする場合には、該当する特約に相当する分の保険料を返還しません。

- ご契約を解約する場合は、当社までお電話でご連絡のうえ、当社所定の書面にてお申出ください。なお、過去に遡ってのご契約の解約はできませんので、ご注意ください。

4. 先進医療費保障特約の消滅

注意喚起情報

保険期間中の先進医療保険金の支払額が通算して2,000万円に達した場合には、保険期間の中途であってもこの**特約**は消滅し、それ以降先進医療保険金はお支払いできません。また、特約が消滅した場合、**保険料**は返還しません。

5. 被保険者からの解約

注意喚起情報

ご契約者以外の方を**被保険者**とすることにご契約において、一定の要件に合致する場合には、被保険者はご契約者に対して解約を求めることができます。この場合、ご契約者は解約しなければなりません。

 **被保険者によるご契約の解約(⑤ページ)**

IV その他ご留意いただきたいこと

1. 個人情報の取扱いについて

注意喚起情報

①法令等の遵守

当社は、個人情報を取り扱う際に、個人情報の保護に関する法律その他個人情報保護に関する諸法令に関し個人情報保護委員会および所管官庁が公表するガイドライン類に定められた義務、ならびに当社のプライバシーポリシーを遵守します。

②個人情報の利用目的

当社は、本保険契約に関する個人情報を、保険引受の判断、本保険契約の管理・履行、適正な保険金等の支払い、付帯サービスの提供、他の保険・金融商品等の各種商品・サービスの案内や提供、アンケート、再保険契約の締結、再保険金の請求等の目的の達成に必要な範囲内において利用します。

また、保健医療等の特別な非公開情報(センシティブ情報)の利用は、保険業法施行規則に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。

③個人情報の第三者提供

当社は、利用目的の達成に必要な範囲内において、本保険契約に関する個人情報を、業務委託先(保険代理店を含む)、医療機関、保険金の請求・支払に関する関係先、他の損害保険会社、一般社団法人日本損害保険協会、損害保険料率算出機構、再保険会社等(外国にある事業者を含む)に提供し、またはこれらの者から提供を受けることがあります。

当社のプライバシーポリシー、個人情報の取扱いに関する詳細、当社取扱商品・サービス内容等については、当社ウェブサイト(<https://www.sonysonpo.co.jp/>)をご覧ください。

2. 保険会社破綻時等の取扱い

注意喚起情報

引受保険会社の経営が破綻した場合等には、**保険金**の支払い、保険料の返還が一定期間凍結されることや、金額が削減されることがあります。当該経営破綻の場合、この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象となり、ご契約による保険金は原則として90%が補償されます。ただし、経営が破綻した時点で**保険料**等の算出の基礎となる予定利率が金融庁・財務省の定める基準利率を過去5年間常に超えていた場合には、保険金の補償割合は90%を下回ります。

3. 保険金の請求手続について

●**保険金**を請求する場合、「**普通保険約款・特約**」に定める書類のほか、「重要事項説明書の補足事項」III-2.保険金請求に必要な書類について(⑥ページ)に記載の書類等をご提出いただくことがあります。

●複数のご契約に加入している場合、請求対象となるご契約がほかにかご確認ください。

補足 保険金の支払事由または保険料の払込免除事由が発生した場合の通知(⑥ページ)、
保険金請求に必要な書類について(⑥ページ)、保険金をお支払いするまでの期間(⑥ページ)

保険に関するご意見・苦情・お問合せ等

当社へのご意見・苦情等

お客様相談室

0120-101-656

受付時間: 休日を除く 月～金 9:00～17:30

ご契約のお手続きに関するお問合せ

カスタマーセンター
医療保険グループ

0120-919-850

受付時間: 9:00～20:00
(土・日・休日も受付 ※年末年始を除く)

指定紛争解決機関 **注意喚起情報**

当社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。当社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申立てを行うことができます。

詳しくは、一般社団法人日本損害保険協会のホームページをご覧ください。(http://www.sonpo.or.jp/useful/soudan/adr/)

一般社団法人日本損害保険協会 そんぽADRセンター

0570-022808

ナビダイヤル(有料)

受付時間: 祝日および12/30～1/4を除く 月～金 9:15～17:00

補足 マークが記載されている項目は **重要事項説明書の補足事項** をご参照ください。 **青字** で表示している用語については **用語の説明** (表紙) をご確認ください。



環境に優しい植物油インキ[VEGETABLE OIL INK]エコマーク認定
地球に優しい「植物油インキ」を使用しています。

ソニー損害保険株式会社 〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1アロマスクエア11F
SA18-107 3000M64C1903-BW1D (記載内容は2018年9月現在のものです)